



DataHub 1000 説明書

Version 1.0

www.solaxpower.jp

変更履歴

日付	バージョン	更新履歴
2024.03.12	V0.0	初版
2024.08.26	V1.0	スマートスケージュール、スマートシーンの機能追加

目次

1	安全上のご注意	.1
2	はじめに	.3
	 DataHubについて 通信系システム構成図 	.3
	2.3 施工および設定の流れ	.5
3	製品紹介	.6
	3.1 製品紹介	.6
	3.2 各部名称	.6
4	同梱品	.7
5	設置	.8
	5.1 壁面設置の場合	.11
	5.2 レールへの取付の場合	.12
6	配線	.13
7	パワコンとDataHubの接続	.14
8	電源投入	.15
9	DataHubのインターネット接続準備	.16
	9.1 有線接続	.16
	9.2 無線接続	.17
10	設置確認	.18
11	ログイン	.19
12	DataHub設定	.20
	12.1 パワコン登録	.20
	12.1.1 パワコン登録	.20
	12.1.2 パワコン情報管理	.22
	12.2 パワコン設定	.23
	12.3 スマートスケージュール	.27
	12.4 スマートシーン	.28
	12.4.1 オートメーションを作成する	.29
	12.4.2 オートメーションををエクスポートする	.31
	12.4.3 オートメーションをインポートする	.31
	12.5 システム設定	.32

	12.5.1 時間設定	32
	12.5.2 他の設定	36
	12.5.3 システム情報	37
	12.6 登録パスワードの修正	
	12.7 システムリセット	
	12.8 DataHubのWi-Fi設定	40
13	製品仕様	41
14	品質保証	42
	14.1 保証期間	42
	14.2 保証条件	42
	14.3 免責事項	42
15	故障	43
16	廃棄について	44
17	お問い合わせ	45
18	付録	46
	18.1 EV充電器とDataHubの接続	46
	18.1.1 設置方法	46
	18.1.2 EV充電器登録	48
	18.1.3 SolaX Cloudアプリ設定	52

1 安全上のご注意

このたびは、DataHub 1000をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。 本製品をご使用いただく前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくご使用ください。 本書では、誤った取扱いにて生じる危険とその程度を、以下の表示で示しております。



安全上のご注意

本書に記載されている内容は、安全に本製品のご使用いただくために重要な内容です。

よくお読みいただき、設置工事、設定、運用など全てにおいて遵守してください。

- 遵守されない場合、重大な事故や財産の損害のおそれがあります。
- 遵守されずに発生した故障や破損については保証対象外となりますので十分にご注意ください。

▲ 警告!

- ●本製品を、以下の場所に設置しないでください。 感電や漏電の危険があり、火災の原因になります。また、機器の故障や破損の原因になります。
 - 湿気やホコリが多い場所
 - 直射日光の当たる場所
 - 最高気温が60℃を超える場所
 - 熱の発生する場所(ストーブ・ヒーター等)の近く

●本製品の内部に水や異物を入れないでください。

感電や漏電の危険があり、火災の原因になります。また、製品の故障や破損の原因にな ります。

万が一、製品内部に水が入った場合は、直ちにAC電源アダプタを抜いて、裏表紙に記載の「お問い合わせ先」へ連絡し、指示にしたがってください。

●本製品から異音、発煙、異臭などの異常が発生した場合は、直ちに裏表紙に記載の「お問い合わせ先」へ連絡し、指示にしたがってください。 異常を放置して使用し続けると、感電や漏電の危険があり、火災の原因になります。また、製品の故障や破損の原因になります。

⚠ 警告!
●電源コードを折り曲げたり、はさんだり、傷つけたりしないでください。 感電や漏電の原因となり、火災を引き起こす恐れがあります。
●本製品の分解、改造、変更を行わないでください。 また、お客様による修理を行わないでください。感電や漏電の危険があり、火災の原因 になります。また製品の故障や破損の原因になります。
●指定のAC電源アダプタ以外は使用しないでください。 感電や漏電の危険があり、火災の因になります。また、製品の故障や破損の原因になり ます
●本製品の配線、コネクタ、プラグは確実に差し込んでください。 感電や漏電の危険があり、火災の原因になります。また、製品の故障や破損の原因になります。
●本製品に落下や衝撃などの強い振動を与えないでください。 製品の故障や破損の原因になります。
●ぬれた手で電源プラグにさわらないでください。 感電の原因になります。
●本製品は日本国内専用です。海外では使用しないでください。 製品の故障や破損の原因になります。
 使用上のご注意
●本書の内容及び本ソフトウェアの内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。
●本製品の不適切な使用、もしくはその他の原因により、万一損害や逸失利益が生じたり、

●本製品の不適切な使用、もしくはその他の原因により、万一損害や逸矢利益か生じたり、 またはその他の発生した結果につきましては一切その責任を負いかねますので、予めご 了承願います。

2 はじめに

2.1 DataHubについて

DataHubは、パワーコンディショナー(以下、パワコンとする)の電力制御機能、データ収 集機能、監視機能を有します。電力会社より出力抑制申請があった際は、本機器を介してパワ コンを制御します。

• PCS(広義)[出力制御機能付PCS]

電力会社または配信事業者が提示する出力制御スケジュール情報を取得し、そのスケジュー ルに応じて発電出力を制御する機能を有するPCSとして、「出力制御ユニット」と「PCS(狭 義)」から構成する。

出力制御ユニット

サーバから出力制御スケジュールを取得し、出力制御スケジュールに基づいて、「PCS(狭義)」 を制御する機能をもつ制御装置。外部通信機能がない場合でも、ユニット内に保存された固定 スケジュールにより、「PCS(狭義)」を制御する。

• PCS (狭義)

従来のPCSの機能に加え、「出力制御ユニット」から出力制御情報を受けて、太陽光発電の出力(上限値)を制御する機能を有する。

2.2 通信系システム構成図



2.3 施工および設定の流れ



※ 上記以降のリモート出力設定等は電力会社から出力抑制があった際に改めて設定する為、 設置時には作業不要です。

3 製品紹介

3.1 製品紹介

DataHub 1000は、蓄電システムのデータ収集、監視と出力制御機能などを有し、電力会社サ ーバから出力制御スケジュールを取得し、出力制御スケジュールに基づいて、蓄電システムを 制御する機能をもつ制御装置です。外部通信機能がない場合でも、ユニット内に保存された固 定スケジュールにより、蓄電システムを制御します。

3.2 各部名称



16

12V入力 (DC 12V)

※¹ MicroSD/データ保管用必須品、512MB以上。

※² 現段階ではご利用できません。

DIポート(DI)

15

4 同梱品

同梱品



※ レール取付の場合に使います。

現地調達品

No.	部品	仕様
1	RS485 ケーブル	デュアルコアまたはマルチコアケーブル 断面積0.2mm² ~2.5mm²(24AWG~14AWG)
2	LANケーブル	Cat 5eまたはCat 5e以降のネットワークケーブル 100m以内
3	MicroTFカード	512MB以上(データ保管用)
4	RJ45アダプター	アダプターM・2分岐(PCS1台以上の場合に必要)

5 設置

外形寸法



設置条件

Wi-Fi 接続の場合、

ルーターとDataHubの間に壁がない場合、接続距離は50m以内にすることを推奨します。 ルーターとDataHubの間に壁がある場合、接続距離は20m以内にすることを推奨します。 Wi-Fi信号が弱い場合は、Wi-Fi中継器の設置を推奨します。



設置場所

取付は製品の重量に耐えれる、不燃性の材料で作られた支持面に取り付けてください。

- 頑丈なコンクリート、または同等の強度がある場所;
- 壁の強度が十分でない場合(木製の壁やボード)などは、必要に応じて補強してく ださい。



設置スペース

設置スペースは取付作業のための目安距離となります。

取付作業に支障がなければ離隔距離は不要です。

左側面はWi-Fi アンテナを取付るためスペースが必要となります。





設置用工具

設置用工具には、下記を推奨しておりますが、必要に応じて、現場で他の工具も準備してくだ さい。



• 設置場所は屋内のみとなります。

5.1 壁面設置の場合

- 1) 本体を取付の壁面に位置決めを行い、鉛筆等でネジ止め位置をマーキングします。
- マーキングした位置に電動ドリルで穴開けます。
 (石こうボード等では下穴をあけない場合もありますのでご注意ください。)
- 3) 壁面の素材に合ったプラグボルトを取り付けます。
- 4) ST4.8 x L30 タッピングねじを本体をドライバーでネジ止めします。



※上記取付方法の他に、取付る壁面の材質に見合った最適な取付方法としてください。また、 取付る壁面の材質に見合うネジや拡張アンカーを適宜、現調の上、取付してください。

Л

▲ 1.2±0.1

∕ _{N·m}

5.2 ガイドレールを使用して設置する場合

- 1) 本体背面部に下図の様に、M3 x L6ネジ4本で、レールクリップをネジ止めします。
- 2) Din 35mm標準レールにレールクリップを引っかけます。



6 配線

RS485の各ポートに接続できるパワコンは最大20台で、4つのRS485ポートに最大接続台数は 80台までとなります(下図参照)。ほかの設備も利用する場合、3つのRS485ポートにパワコン を接続し、残った1つのRS485ポートにパワコン以外の設備を接続します。



7 パワコンとDataHubの接続

LANケーブルにてパワコンとDataHubを有線接続します。それぞれ適応するコネクタが異なるため、下記手順に従ってケーブルを作成して下さい。

- LANケーブル(屋外用カテゴリー5e以上)の外皮を除去後、ワイヤーストリッパー で、被覆を8~10mm除去してください。使用するのは、4番・5番の2本となります。
- 2) ワイヤー先端部を左から4番・5番の順になるようにプラグイン端子Aに差し込み、マ イナスドライバーで固定してください。
- 3) プラグイン端子AをRS485ポート1に挿し込みます。
- LANケーブル反対側はパワコンへの接続となります。防水コネクタおよびRJ45コネ クタの取付が必要です。



8 電源投入

- 1) 電源アダプターのプラグをDataHubの電源端子に差し込みます。
- 2) 電源プラグを電源アダプターに取り付けます。
- 3) 電源プラグを電源コンセント(AC100-220V)に差し込みます。
- 4) LEDインジケーターをチェックし、運転ランプが点灯することをご確認ください。





LED		状態	説明		
	点滅		正常		
運転(緑)	点灯		田忠		
	消灯		关市 共市		
サーバーリンク(緑)	点灯		通信正常		
	消灯		通信異常		
	点灯		アラームあり		
	消灯		アラームなし		

9 DataHubのインターネット接続準備

9.1 有線接続

Wi-Fi接続をされる場合は9.2 無線接続へ進んでください。

本機はLANネットポート (NET)を介してイーサーネット、ルーター、コンピューターに接続で きます。

ネットワークケーブルは、現地調達の上、接続してください。 ネットワークケーブルは、CAT5e 以上のケーブルとプラグコネクターをご使用ください。

- 1) ネットワークケーブルの絶縁被覆を剝ぎ取ります。
- 2) ストレート結線して、RJ54アダプタに接続します。
- 3) ネットワークケーブルの先端部を圧着します。シールド層がコネクタ金属シェル部 に正しく接続されていることをご確認ください。また、通信距離は100m以内として ください。
- ネットワークケーブルのをLANネットポート(NET)とルーター(現地調達品)へ 接続してください。





9.2 無線接続

DataHubと直接Wi-Fi接続することで初期設定を行います。

<Wi-Fi アンテナの設置>

同梱品のWi-Fi アンテナを下図のようにねじ込み固定してください。



10 設置確認

順番	確認項目
1	DataHubがしっかり取付固定されているか
2	ケーブルが正しく接続されているか
3	ケーブルが高圧・弱電要件を満たしているか
4	ケーブルがしっかりと束ねられており、向きも同じかどうか
5	ケーブルに余計な銅線や結束バンドが残っていないか

11 ログイン

Wi-Fi初期設定

パソコン等からWi-Fiのネット接続からWi-Fi_XXXXXXXX

(XXXXXXX=DataHubのシリアル番号)を選択し接続してください。

パソコン等のブラウザを立上げ、URLに192.168.10.10を入力してアクセスするとログイン画 面がでてきます。

Wi-Fi _XXXXXXXXXXX		
	ログイン	
A	2 ユーザー名	ユーザ名を 入力してく
		ださい パスワード を入力して ください
	פאלים 1	

- ログインすると、言語選択画面が自動的に表示されますので、言語を選択してください。
- 2) ユーザー名「JP_admin」、初期パスワード「123456」と入力してください。
- 3) ログイン後、初期パスワードを変更してください。
 - » ユーザーIDをクリックして、「パスワード変更」を選んでください。
 - » パスワード変更の画面で初期パスワードと新しいパスワードを入力すると変更 できます。
- 4) 再度ログインし直してください。
- ※ iOSのバージョンによっては画面が上手く表示されない場合があります。その際はAndroid 端末もしくはパソコンからアクセスしてください。

12 DataHub設定

12.1 パワコン登録

DataHubブラウザにて、DataHub端末を接続しているパワコンを登録します。

12.1.1 パワコン登録

 11 ログインの画面にて、タブ「システム設定」>「シリアルポート設定」で設定画 面を開きます。下表に従って、ボーレート(初期値19200)を変更し、「保存」をク リックしてください。「操作成功」と表示が出たら設定完了となります。

	シリアルボート設定					
成 要	СОМポート	通信プロトコル	ボーレート	チェック方式	ストップビット	
企 ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	1	modbus v	9600 ~	チェックなし >		
_	2	modbus 🗸	9600 ~	チェックなし 🗸	1 ~	
	3	modbus \vee	9600 ~	チェックなし ×	1 ~	
-	4	modbus 🗸	9600 ~	チェックなし >	1 ~	
く システム設定 へ					保存	
ネット設定						
時間設定						
シリアルポート設定						
他の設定						
システム情報						

RS485ポートに接続する設備	ボーレート
パワコン	19200
EV充電器	9600

※蓄電システムのボーレートが変更の場合、DataHub 1000のボーレートも同時 に変更する必要があります。

- 2) タブ「発電所管理」>「設備追加」で設定画面を開いてください。
- RS485ポート1の初期アドレスは「1」を選択してください。 (複数台設置によりRS485ポート2~4を使用する場合、それぞれ別のアドレスを選 択してください。)
- 4) 設備数量は「1」を選択してください。 (複数台設置を使用する場合、該当する設備数量を選択してください。)

概要	сомѫ−ь	設備タイン	J	初期	アドレス	設係	数量
<u>ب</u>	1	パワコン	~	1	~	1	~
発電所管理	2	パワコン	~	0	~	0	~
設備追加	3	パワコン		0		0	
設備アーダ	4	メーター		0		0	
上 (2) 発電所設定	詳細情報						保存
パワコン設定							
合 ^{智能场景}							

5) 「保存」をクリックしてください。

- 6)「設備を追加していますので少々お待ちください。」が表示され、自動的に設備機種 を識別します。
- 7) 識別完了後、以下の画面が自動表示されます。シリアル番号、型式が正しいことを確認し、「保存」をクリックしてください。シリアル番号もしくは設備機種が不明となった場合は、「型式更新」をクリックして、再度「保存」をクリックしてください。
- 8) 「操作成功」と表示が出たら設定完了となります。

設備情報

COM ポート	設備 ID	シリアル番号	設備タイプ	型式
1	1	J1wjxtest_0813	インバータ	J1-Hybrid 6kW v

型式更新

保存

※ 別途、SolaX CloudへのDataHub登録も必要となります。 詳細は「SolaX Cloudユーザーガイド」をご確認ください。 12.1.2 パワコン情報管理

設備追加した後で、タブ「概要」にて設備状態を確認します。

「概要」をクリックすると情報が更新されます。「状態」の表示が緑●であれば正常です。 オフラインの状態であると、「状態」の表示は赤●になります。

24 当日発定量 0.00 kwh	a total 合計発電量 0.00 kwh	0.00 kW 現在電力 設備容量 0.00 kW	設備情報 СОМボート 1	設備タイプ パワコン	設備総数 1	オンライン 0	オフライン 1	状態
CO2排出量秒0% 0.00 kg	収益&節約 0	grid 系統電力 0.00 kw						
本月発電量 kWh	日発電量		本日電力曲線 kW		- <mark></mark> - 紀発電量	-O- 系統電力		
0.8			0.8					
0.6			0.6					

※機器設置時の設定は以上となります。本設定以降は電力会社より出力制 御要請が来た場合のみに設定する項目になります。

12.2 パワコン設定

リモート出力制御設定

リモート出力制御により電力会社のスケジュール通りにパワコンの発電電力を制御します。 事前に電力会社に発電所IDを申請し取得してください。

タブ「発電所設定」>「リモート出力制御設定」にて、「リモート出力制御設定」を「ON」にします。

リモート出力制御は現地アップロードとネットワーク取得が選択可能です。(ネットワーク取 得を推奨します。)

- 現地アップロード:固定スケジュール方式(ダウンロードした出力制御スケジュー ルをアップロード)
- ネットワーク取得:更新スケジュール方式(定期的に更新スケジュールを取得)

版 概要	リモート出力制御設定		
企	* リモート出力制御 OFF ON * スケジュールの取得方法 選んでください	^	6
えるが日本 ・ 発電所設定	 ・発電上限設定(W) 現地アップロード ・出力変化時間(min) ネットワーク取得 *出力制御モード 選んでください 	~	
リモート出力制御設定	エクスポート リセッ	提出	
く システム設定	当日スケジュール		-
	☐ 2023-10-23 00:00-07:59 01	8:00-15:59 16:	00-23:59

ネットワーク取得

- 1) スケジュールの取得方式 「ネットワーク取得」を選択
- 2) 発電上限設定(W)
 鍵マークをクリックし、パスワード(施工店のみ開示)を入力することで設定可能です。
 ※発電上限の設定値はパワーコンディションナの有効出力を超えないようにしてください。
 (定格出力5900W)小率0.95 の場合は5600W以下に設定)
 ※太陽光発電の容量がパワーコンディションナの有効出力以下の場合は、その値を上限値として設定してください。
- 3) 出力変化時間(min) 「5」を選択
- 4) リモート出力制御サーバー 電力会社を選択
- 5) 発電所ID IDを入力
- 6) スケジュール頻度 「年」を選択
- 7) 「提出」をクリック
- 8) 「操作成功」と表示が出たら設定完了

OFF ON	
ネットワーク取得 🗸	
6000	
5 ~	
選んでください ~	選んでください
余剰買取制御 🗸	
選んでください >	
エクスポート リセット 提出	
	OFF ON ネットワーク取得 > 6000 5 多し、でください > 余剰買取制御 > 遅んでください > エクスポート リセット 振出



リモート出力制御設定

現地アップロード

- 1) スケジュールの取得方式 「現地アップロード」を選択
- 発電上限設定(W)
 鍵マークをクリックし、パスワード(施工店のみ開示)を入力することで設定可能です。
 ※発電上限の設定値はパワーコンディションナの有効出力を超えないようにしてください。 (定格出力5900W/力率0.95の場合は5600W以下に設定)
 ※太陽光発電の容量がパワーコンディションナの有効出力以下の場合は、その値を上限値として 設定してください。
- 3) 出力変化時間(min) 「5」を選択
- 4) 配置ファイル 電力会社のサイトからダウンロードした出力制御スケジュールを選択しアップロード (201_999_xxxxx.data:年スケジュール、202_YYMM_xxxxx.data:月スケジュール、203_0000_xxxxx.data:日スケ ジュール)
- 5) 「提出」をクリック
- 6) 「操作成功」と表示が出たら設定完了

リモート出力制御設定

* リモート出力制御	OFF 🚺 ON	Ē.
* スケジュールの取得方法	現地アップロード 🗸 🗸	
* 発電上限設定(W)	6000	
* 出力变化時間(min)	5 ~	
* 出力制御モード	余剰買取制御 ~	
* 配置ファイル	アップロードするファイルを選択してくだ	記入してください
	エクスポート リセット 提出	





リモート出力制御スケジュール

この機能は、当日の出力制御スケジュールをチェックすることができます。ユーザーは、時間 帯を選択して、当日のリモート出力制御スケジュールをチェックしたり、日付を選択して履歴 データも確認できます。

出力制御スケジュールは電力会社から取得していたリモート出力スケジュールであり、固定 スケジュールまたは更新スケジュールにて表示されます。表示される値は当日出力制御スケ ジュールの最小制御率であり、制御率を示す円の色は数値により変化します。制御率=100% の場合は緑色、1~99%の場合は黄色、出力制御=0の場合は赤色になります。





当日スケジュール

12.3 スマートスケージュール

スマートスケジュールは、予測太陽光発電電力、予測負荷電力、天気予報及び電力価格に基づ いて、最適な運転モードを自動調整して、発電効率と収益を最大化させる機能となります。

収益比較は、毎月デフォルトスケージュールの収益、スマートスケージュール運用後の収益、 および年間累加の収益額を表示します。

エネルギー予測は、当日の太陽光発電電力、電力メーター計測の総エネルギー消費量、系統への給電電力、蓄電池の充放電電力、予測太陽光発電電力、予測負荷電力を折れ線グラフで表示します。



スイッチのマーク(**一**))にタッチするとスマートスケージュール機能をオン・オフに切り 替えることができます。

※ ファームウェアのバージョンが低すぎる場合、「使用するバージョンが低いため利用できま せん」のメッセージが表示されます。



12.4 スマートシーン

スマートシーンをONにすれば、シーンを作成して、指定した条件(IF)で、所定の動き(Then) を自動化にするようにしておけます。

条件(IF)では、時間&日付、天気、パワコン&蓄電池、DataHub、メーターの指定条件、電気価格などの前提条件を設定できます。動作(Then)ではタイマーオン、メール送信、パワコン&蓄電池、DataHub、EV充電器が前提条件を満たしてからの動作を設定できます。

DataHubを中心に、システム内の機器をサードパーティ機器と通信し、スマートシーンを構築します。

条	牛	(I	F)
		• -	

項目	説明
時間を日付	日付:特定の日付、期間を指定します。 また曜日や月を繰り返しに設定することができます(複数の曜日や月 も選択可能)。
可回及口	時間:特定の時間(時:分:秒)、時間帯を指定します。
天気	太陽放射照度が、温度、湿度、降雨、風速、気圧、X時間後の降雨予 測
パワコン&蓄電池	以下の項目を指定します。 パワコンの入力電力、 パワコンから蓄電池への充電電力、 パワコン出力電力、 パワコン連系電力、 パワコン買電電力、 パワコンの発電量がkWhを超える、 パワコン状態のON/OFF、 パワコンエラー有無、 パワコンの運転モード(グリーン、経済、安心、手動、停電モード)、 蓄電池放電電力、 蓄電池残量
DataHub	Datahub Dl(1/2/3/4)の信号:0/1/逆 Datahub Al(1/2)の電圧信号:電圧値 Dl:デジタル入力端子 Al:アナログ入力端子
メーター	メーター連系電力 (合計)、メーター給電電力、メーター計測売電量、 メーター計測買電量
電気価格	電気料金範囲、電気料金=当日最高料金×_% (100%以下)、最高料金の時間帯、最低料金の時間帯

動作(THEN)

項目	説明
タイマーオン	動作の遅延時間です。動作開始時間を遅延することができます。
メール送信	メールを自動送信します。 メール送受信アドレス、パスワード、サーバー、メール内容などを入 力しておきます。
パワコン&蓄電池	パワコンスイッチのオン/オフ、 パワコン AC側最大出力電力、 系統はkWの電力で蓄電池をkWh充電する、 系統はkWの電力で蓄電池を%に充電する、 パワコンはkWの電力で蓄電池を%までに放電する、 系統はkWの電力で蓄電池を%までに放電する、 パワコンの運転モード(グリーン/経済/安心/手動) パワコンの制御権限を解放
DataHub	Datahub DO(1/2/3/4)の信号:0/1/逆 DO:デジタル出力端子
EV充電器	EV充電器スイッチ オン/オフ、運転モード(グリーン、エコ、高速)、 充電電流

12.4.1 オートメーションを作成する

1) 「スマートシーン」タブで、+ボタンをクリック

同じ		
分 発電所管理	(+)	- ¹ インポート
上 〇〇 ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~		
ビー パワコン設定		
命 スマートシーン		

 シーンのタイトルを入力 条件(IF)と動作(Then)を設定 「保存」をクリック

	「マ」	タイトルを入力してください 観明
スマートシーン	← 発電所管理 発電所設定 デニ パワコン設定	IF すべての条件を満たす 2 ③ 時間 & 日付 〇 時間 & 日付 〇 方気 國 パワコン&蓄電池 〇 DataHub
	<u>に</u> スマートシーン	○ メーター ○ 電気価格
C メール送信 C メール送信 C C C C C C C	介 パワコンアップグレード	Then 3 쩐 ७ ४ र र - オン
	O DataHub證定	 ズ メール送信 図 パワコン&着電池 □ DataHub ▲ EV元電路

 1) 作成が完了したら、対象シーンのスイッチマーク (

 (アレッチすると自動化を オン・オフに切り替えることができます。右上の をクリックするとシーンを編集・ 複製・削除することができます。

	インバーター	停止	テスト
概要:6/28 16: 24/7/4) 停止 7	35停止 7/4 16:35 /9 16:49無効化	設	编集
			コピー
$ \rightarrow $			削除

※ オートメーション作成には数の上限がありません。

12.4.2 オートメーションををエクスポートする

構成済みのオートメーションデータをtxt、json形式でローカルにダウンロードします。

txtファイルはオートメーションの情報を記録します。jsonファイルはテンプレートとして、他のDatahub設備に導入できます。

下記の手順に従いエクスポートします。

- 1) 「スマートシーン」タブで、「出力」を選択
- 2) 自動化のシーンを選択
- 3) エクスポートの形式を選択
- 4) 「保存」をクリック

スマートシーンのエクスポート	×	1
 全て 這んでください ∨ エクスポート形式 ● json ∧ txt json 	2 3 **>e/	インボート
	4	

12.4.3 オートメーションをインポートする

オートメーションをインポートするときは、「スマートシーン」タブで、「インポート」>「フ ァイルを選択」>「保存」の順に操作します。



12.5 システム設定

12.5.1 時間設定

時間設定はDataHub 1000のシステム時間を設定します。

自動時刻同期、監視クラウド時刻同期、他の時刻同期、リモート出力時刻同期、全4モードが あります。

自動時刻同期の時、時刻設定を変更する必要がある場合は、電力会社の指示に従って変更して ください。

- 自動時刻同期:システム自動時刻校正
- リモート出力時刻同期:時刻同期サーバーにより、システム時間を修正。自動時刻 同期してから、リモート出力時刻同期を行う場合は、現時点前後10分を超えると設 定失敗になります。

時間設定は、下記のように操作してください。

- 1) 設定モードを選ぶ
- 2) タイムゾーンを選ぶ
- 3) 「提出」をクリック

時間設定

* 時間設定	自動時刻同期 ~
タイムゾン	(UTC+09:00) Asia/Tokyo 🗸 🗸
	リセット 提出
	自動時刻同期
	自動時刻同期
	監視クラウド時刻同期
	他の時刻同期
	リモート出力時刻同期

リモート出力時刻同期の場合、リモート出力時刻同期は自動時刻同期と手動時刻同期の2種類 があります。

自動時刻同期

時刻同期サーバーIPアドレスを入力してください。電力会社にIPアドレスをご確認ください。 タイムゾーンを選んで、「提出」をクリックしてください。



時間設定

手動時刻同期

※手動時刻同期は代理店又は施工店しか行われないです。

マークをクリックし、パスワードを入力することで設定可能です。

- 1) 「日付を選択する」をクリック
- 2) 「日付を選択」でカレンダから設定する日を選択
- 3) 「時間を選択」をクリック
- 4) 設定する時間を選択し「確定」をクリック
- 5) 「**OK**」をクリック
- 6) 「提出」をクリック

※現在で設定する場合、⑦「現在」をクリックしてから⑥「提出」をクリックしてください。

* 手動時刻同期	© 2022-06-01 08:59:00	e
ユーザの場合、10分進み 担当者は時刻を自由に設立 入力してください。	× ・遅れ時刻変更できます, サービス Eする場合、下記にてパスワードを	
	キャンセル 確定	

時間設定



日付	を選択	2		時間を	選択	3
				12	20	22
« <		2023	3 名	13	21	23
R	月	×	7	14	22	24
		1.1		15	23	25
24	25	26	2	16	24	26
1	2	3	2	17	25	27
8	9	10	1		キャンヤ	4 セル <mark>のK</mark>
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4
					7	5
					現在	ОК

12.5.2 他の設定

「他の設定」では、データベース保存設定ができます。

データベース保存設定はパワコンのデータベース保存パスで、「初期」と「TFカード」の2種 類が選択できます。「初期」はDataHub 1000に保存、「TFカード」はSD拡張カードに保存とな ります。

設定方法

- 1. データベース保存パスから「初期」または「TFカード」を選択
- 2. 「提出」をクリック

データベース保存設定

データベース保存パス	初期	^
	初期	
	TFカード	

※ TFカードを選択する場合

- » TFカード (microSD) の容量は最低512MBです。16Gの容量を推奨します。
- » システムが正常に動作している間はTFカードを抜かないでください。 (TFカードを抜く場合は電源を切ってから取り外してください。)

12.5.3 システム情報

システム情報はDataHub 1000の基本情報を表示します。

設備シリアル番号、ソフトウェアバージョン、システム現在時間、メモリ使用率、TFカード 空き容量、接続しているWi-Fi、Lan IPアドレス、Wi-Fi IPアドレスなどの情報を表示します。

TFカードを挿入する場合は、「TFカードの空き容量」が表示されます。

TFカードを挿入していない場合は、NAになります。

シリアル番号	SXXXXXXXXX
ソフトウェアバージョン	4.01
内部コード	V001.00
システム現在時刻	2023-07-12 20:04:07
メモリ使用率	20.0%
ディスク空き容量	4.1G
TFカード空き容量	NA
WiFi接続	NETGEAR50
IPアドレス(有線LAN)	192.168.1.100
IPアドレス(Wi-Fi)	192.168.1.17

システム情報

12.6 登録パスワードの修正

登録パスワードの変更が可能です。

ログインアドレスのタブより「**パスワード変更**」をクリック

- 1) 旧パスワードを入力;
- 2) 新パスワードを入力、パスワード確認へ再度新パスワードを入力
- 3) 「確定」をクリック

JP_admin ∨	● 言語選択 ~	<u>し</u> ログアウト
パスワード変更		
パスワード変更		×
* 元のパスワード		
*新しいパスワード		
* パスワード確認		
	ŧ	ヤンセル 確定

※ パスワードを忘れた場合は、お買い上げの販売店もしくは設置業者へお問い合わせください。

12.7 システムリセット

システムリセットはシステムを工場出荷時の初期設定に戻し、履歴データと配置情報をクリ アする機能です。

操作方法:

RST ボタンを10秒間長押し、3つのLEDライトが完全に消灯したら離します。DataHub 1000を 再起動し、システムリセットが完了します。



12.8 DataHubのWi-Fi設定

※本項目はDataHubのインターネット接続を無線接続にて行う場合のみ設定します。本設定 を行うことで都度テザリングを行うことなく、DataHubブラウザにアクセスする事が出来ま す。

テザリング接続にて、<u>11 ログイン</u>に沿ってログインした後、

①「システム設定」>「ネット設定」で、②対応するWi-Fiを選択して、③パスワードをご入 力ください。



接続成功するとクラウド画面で成功のメッセージが表示されます。

接続失敗のメッセージが表示される場合は、③で入力したパスワードが正しくありません。正 しいパスワードを再入力してください。

Wi-Fi設定が完了した後、テザリングを解除しブラウザを立ち上げhttp://datahub.local/にア クセスするとインターネット経由でDataHubにアクセスする事が出来ます。(Google Chrome を推奨)

注意:http://datahub.local/にアクセスできない場合は再度テザリング設定(項目11 ログイン)に切り替え、システム情報で有線LAN IPアドレスまたはWi-Fi IPアドレスを確認してください。その後、インターネット接続に切り替えて、URLに先ほど確認したアドレスを入力し DataHubブラウザにログインしてください。

13 製品仕様

製品名	DataHub 1000
通信モード	Wi-Fi/LAN
消費電力	24W
電源アダプタ	100-240V 50 / 60Hz AC入力 12V 1.5A DC出力 12V 2A
データ転送間隔	5分
デバイス数量の管理	80台以内
パワコン通信	RS485
発信距離	無線<15m 有線<100m
ルーターとの通信距離	無線<50m(壁無し)無線<20m(壁あり) 有線<100m
寸法(LxWxH)	205mm*124mm*33mm
質量	410g
動作温度範囲	-20°C~60°C
防水防塵保護等級	IP20
設置方法	壁面取付、ガイドレール取付
表示画面	LED
認証	RED/FCC/CE/RoHS/Telefication

14 品質保証

14.1 保証期間

納品日より2年間。

但し、契約に別段の定めがある場合は、契約が優先するものとします。

14.2 保証条件

取扱説明書に従って使用する場合、製品自体の不具合は、保証期間以内に、 アフターサービスを提供します。

14.3 免責事項

保証期間経過後および保証期間内でも次の場合には有償修理になります。

- 1. 保証書のご提示のない場合
- 2. 保証書の記載事項を故意に書き換えられた場合
- 3. 取扱説明書等の記載に反する使用による故障、損傷の場合
- 4. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障、損傷の場合
- 5. お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障、損傷の場合
- 6. 落雷、火災、公害および地震、風水害その他天災地変等の不可抗力の要因 による故障、損傷の場合
- 塩害地域へ設置した保証対象商品につき、事由にかかわらず故障、劣化、不 具合、損傷の場合
- 8. その他、獣害・虫害等保証対象機器を設置した環境に起因して生じた故障、 劣化、不具合、損傷の場合
- 9. 保証対象商品に接続された他の機器またはシステム等による故障、損傷の 場合
- 10. 保証対象商品に該当しない場合
- 11. その他弊社が有償と判断した場合

15 故障

故障だと思われる場合は、まずはこちらをご確認ください。確認の結果、異常がある場合は分 岐ブレーカをOFFにして電源を切り、SolaXコンタクトセンターまでご連絡ください(設備の 型式、製造番号、詳細状態をお知らせください)。

電源が入らない

- 電源アダプタケーブルが、本機にしっかりと接続されているか確認してください。
- 電源アダプタケーブルが、コンセントにしっかりと接続されているか確認してください。
- 電源アダプタに破損や異常等がないかを確認してください。

ネットワークに接続できない

- ネットワークケーブルが、本機にしっかりと接続されているか確認してください。
- ネットワーク設定に問題がないか確認してください。

16 廃棄について

🕅 本機を廃棄する場合には、家庭ごみとして処分することはできません。

▲ お住いの自治体及び法令に準じた処理方法にて適切に処分してください。

本機を適切に廃棄処理することで、環境への悪影響を防ぎ、材料のリサイクルにも役立ちま す。処分方法がご不明な場合には、自治体にご確認いただくか、お買い上げの販売店、施工 店、アフターサービスへお問い合わせください。

17 お問い合わせ

ご不明な点は、お買い上げの販売店や施工店、もしくは下記までお問い合わせください。

SolaX アフターサービス・コールセンター

TEL. 080-0100-2327 9:00~19:00 (土日・祝日・休業日を除く) E-mail service.jp@solaxpower.com

18 付録

18.1 EV充電器とDataHubの接続

18.1.1 設置方法

1台設置

LANケーブルにてEV充電器とDataHubを有線接続します。それぞれ適応するコネクタが異なるため、下記手順に従ってケーブルを作成して下さい。

- LANケーブル(屋外用カテゴリー5e以上)の外皮を除去後、ワイヤーストリッパー で、被覆を8~10mm除去してください。使用するのは、4番・5番の2本となります。
- 2) ワイヤー先端部を左から4番・5番の順になるようにプラグイン端子Aに差し込み、マ イナスドライバーで固定してください。
- 3) プラグイン端子Aを左端のRS485ソケットに差し込みます。
- LANケーブル反対側はRJ45コネクタに取り付けて、EV充電器のCOMポートに接続します。



ポート	マーク	説明
RS485-1	4番:A	RS485Aは差動信号+
RS485-2 RS485-3	5番:B	RS485Bは差動信号-
RS485-4	6番:GND	接地線(未使用)

▲注意!

RS485+/-が、各ポートに間違いなく接続されていることを確認してください。

複数台設置

複数台のEV充電器を接続する場合は、RJ45スプリッターコネクターが必要となります。

RS485の各ポートに接続できるEV充電器は最大20台ですが、4つのRS485ポートに最大接続台 数は 80台までとなります(下図参照)。ほかの設備も利用する場合、3つのRS485ポートにEV 充電器を接続し、残った1つのRS485ポートにEV充電器以外の設備を接続します。



18.1.2 EV充電器登録

DataHubブラウザにて、DataHub端末を接続しているEV充電器を登録します。

<u>11 ログイン</u>の画面にて、下記を設定します。

※RS485ポート1~4はCOMポート1~4を対応します。

※ステップ1と2は必ず設定してください。

タブ「システム設定」>「シリアルポート設定」を開きます。
 EV充電器RS485ポートのボーレートを「9600」に設定、保存します。
 (複数台設置によりRS485ポート2~4を使用する場合も同じ内容を選択し保存してください。)

	シリアルポート設定							
194.50	сомポート	通信プロトコ	111	ボーレ	- ト	チェック方式		ストップビット
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	1	modbus	~	9600	~	チェックなし	· 1	~
	2	modbus		9600	~	チェックなし	1	
	3	modbus		9600	~	チェックなし		
96m8/91m20E	4	modbus		9600	~	チェックなし	1	
くび へ システム設定								保存
ネット設定								
時間設定								
シリアルポート設定								

2) タブ「発電所管理」>「設備追加」を開きます。

「設備タイプを「EV充電器」、初期アドレスを「70」、設備数量を実際設置したEV充 電器の数を選択し、保存します。

(複数台設置によりRS485ポート2~4を使用する場合は、それぞれ70を選択してください。)

~	СОМポート	設備タイン	設備タイプ		アドレス	設備数量		
	1	EV充電器	~	1	~	1	~	
発電所管理	2	EV充電器		0		0		
設備追加	3	EV充電器		0		0		
設備データ	4	EV充電器		0		0		
上(3) 発電所設定	詳細情報						保存	
Eù								

3) 総電力抑制機能

メーターを接続なしの場合、充電必要のEV充電器数量によって、自動的に充電電力 の均等割り(総充電電力内に収まる)を実現する機能です。 総電力=ユーザーが設定した最大電力+接続されたパワコンの総出力電力。



設定手順:

① タブ「発電所設定」>「EV充電器の設定」を開きます。

② メーターなし充電ステーションを「オン」にします。

③ 定格電力(≧EV充電器数量×1.2[※])を入力し、「提出」をクリックします。

※ EV充電器を起動させるには最小電力は1.2kWです。

	uxer >	
	EV充電器の設定	
企 発電所管理	EV充電器の優先設定 	
」 の 発電所設定	ジャット ロー メーターなした高ステーション	
売電電力制限	切聴 オフ 🕕 オン	1
EV充電器の設定	定格電力AW 12 令 リセット 80	
180720E		-1.

4) 充電優先順位付け機能**

複数台の充電器を使用する際、最多2台を最大電力で優先充電させる機能です。他の 充電器は充電開始時間の順位で充電します。

※ メーターなし充電ステーション機能と連動した上で有効になります。



(例 2)	
総雷力 24kW	20 台稼働中



優先充電

設定手順:

① タブ「発電所設定」>「EV充電器の設定」を開きます。

② EV充電器の優先設定にて「優先EV充電器SN」を選択し、「提出」をクリックします。

X SOLAX		♣ 言語を選択 ∨	
	EV充電器の設定		
企 病應所管理	FV充電器の優先設定 @先江V充電器の @たてたきい □		
上 一〇 、 発電所設定	リセット 四国 メーターなし 奈原 ステーション		
売電電力制限			
外部電力制御	切替 オフ 🔵 オン		
EV充電器の設定	定格電力kW 1.2 个		
他の設定	ण सं प्रस		

18.1.3 SolaX Cloudアプリ設定

※詳細は「SolaX EV充電器 取扱説明書」をご確認ください。

SolaX CloudへすべてのEV充電器登録後、下記を設定します。

1) 「充電器の設定」>「適用シーン」>「Home(個人用)」で設定してください。

いいえ	ОК
Hom	e(個人用)
	OCPP
Stand	ard(業務用)

2)「充電器の設定」>「Modbus設定」を開きます。 複数台EV充電器設置の場合、「アドレス」(初期値 70)とModbusボーレート(初期値 9600)を変更してください。同じシステム内の異なる EV 充電器のアドレスは異なります。DataHubと直接接続する充電器のアドレスを70にし、残りの充電器のアドレスは順番に設定してください。





SolaX アフターサービス・コールセンター

TEL. 080-0100-2327 9:00~19:00 (土日・祝日・休業日を除く) E-mail service.jp@solaxpower.com



©SolaX Power Network Technology (Zhejiang) Co., Ltd. 2024